鳥取市公衆浴場確保対策補助金交付要綱

（趣旨）

第１条　鳥取市は、公衆浴場の経営の安定を図り、もって地域住民の保健衛生を確保するため予算の範囲内において公衆浴場の経営者に補助金を交付するものとし、その交付に関しては、鳥取市補助金等交付規則（昭和４２年鳥取市規則第１１号。以下｢規則｣という。） に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

（定義）

第２条　この要綱において｢公衆浴場｣とは、公衆浴場法（昭和２３年法律第１３９号）第２条の規定に基づく知事の営業許可を受け、かつ、入浴料金について物価統制令（昭和２１年勅令第１１８号）第４条の統制額の指定を受けている公衆浴場をいう。

（補助対象事業）

第３条　第１条に規定する補助金（以下「本補助金」という。）の交付の対象となる事業は、公衆浴場の運営に係る事業とする。

（補助対象者）

第４条　本補助金の対象となる者は、公衆浴場の経営者であって、本補助金の交付の申請をした日に納期が到来している、次に掲げる国税及び市税等を完納しているものとする。

1. 国税
2. 市民税（個人・法人）
3. 固定資産税
4. 下水道使用料

　（補助金の交付）

第５条　本補助金は、次の各号に掲げる経費を対象としてそれぞれ当該各号に規定する額（仕入控除税額（補助対象経費に含まれる消費税及び地方消費税に相当する額のうち、消費税法（昭和６３年法律第１０８号）に規定する仕入れに係る消費税額として控除できる部分の金額と当該金額に地方税法（昭和２５年法律第２２６号）に規定する地方消費税率を乗じて得た金額の合計額をいう。以下同じ。）を除く。）以内で算定し、予算の範囲内で交付する。ただし、年度の途中において特別の理由がなく休業又は廃業した場合並びに年度中の営業日数が２００日未満の公衆浴場、飲食店、宿泊施設、娯楽施設等のレジャー目的施設が併設されている公衆浴場及び地域の共同運営等により主として当該地域の住民の共同浴場としての用に供されている公衆浴場については、本補助金は交付しない。

（１）公衆浴場の運営に係る経費　当該経費の額（１浴場当たり５００，０００円を限度とする。）

（２）省エネルギー対策を実施するための施設整備に係る経費　当該経費の額（１浴場当たり２，０００，０００円を限度とし、１年度に１回限りとする。）に２分の１を乗じて得た額（１，０００円未満の端数がある場合は、これを切り捨てる。）

（補助金交付の申請）

第６条　規則第４条の規定に基づく補助金等交付申請書は、前条第１号に掲げる経費に対する申請にあっては、市長が別に定める日までに市長に提出しなければならない。

２　前条第２号に掲げる経費にかかる事業について、やむを得ない事情により本補助金の交付の決定前に事業に着手する必要があるときは、様式第５号を市長に提出しなければならない。

３　本補助金の交付を受けようとする者は、交付申請に当たり、仕入控除税額が明らかでないときは、前条の規定にかかわらず、仕入控除税額を含む補助対象経費の額（以下「仕入控除税額を含む額」という。）の範囲内で交付申請をすることができる。

４　規則第４条の申請書に添付すべき同条第１号、第２号及び第４号に掲げる書類は、前条第１号に掲げる経費にかかる申請にあってはそれぞれ様式第２号から様式第４号に、前条第２号に掲げる経費にかかる申請にあってはそれぞれ様式第２号から様式第５号によるものとする。

　（交付決定）

第７条　市長は、前条第３項の規定による申請を受けたときは、第５条の規定にかかわらず仕入控除税額を含む額の範囲内で交付決定をすることができる。この場合においては、仕入控除税額が明らかになった後、速やかに、交付決定に係る本補助金の額（変更された場合は、変更後の額とする。以下「交付決定額」という。）から当該仕入控除税額に対応する額を減額するものとする。

（承認を要しない変更）

第８条　規則第９条第１項の市長が別に定める変更は、次に掲げるもの以外の変更とする。

　（１）本補助金の増額

　（２）本補助金の２割を超える減額

（着手届の提出）

第９条　本補助金の交付に係る事業は、規則第１０条第１項第３号のその他市長が別に定める場合とし、同項に規定する着手届の提出を要しないものとする。

（実績報告）

第１０条　規則第１２条の規定に基づく実績報告書は、交付決定を受けた年度の翌年度４月１０日までに市長に提出しなければならない。

２ 補助対象者は、実績報告に当たり、その時点で明らかになっている仕入控除税額（以下「実績報告控除税額」という。）が交付決定額に係る仕入控除税額（以下「交付決定控除税額」という。）を超える場合は、補助対象経費の額からその超える額を控除して報告しなければならない。

３ 補助対象者は、実績報告の後に、申告により仕入控除税額が確定した場合において、その額が実績報告控除税額（交付決定控除税額が実績報告控除税額を超えるときは、当該交付決定控除税額）を超えるときは、様式第１号により速やかに市長に報告し、市長の返還命令を受けて、本補助金に係る仕入税額控除相当額を市に返還しなければならない。

４ 規則第１２条の報告書に添付すべき同条第１号、第２号及び第４号に掲げる書類は、第５条第１号に掲げる経費にかかる実績報告にあってはそれぞれ様式第２号及び様式第３号に、第５条第２号に掲げる経費にかかる実績報告にあってはそれぞれ様式第２号、様式第３号及び様式第５号によるものとする。

（交付の条件）

第１１条　市長は、本補助金の交付を決定する場合において、第５条ただし書の規定に該当するに至った公衆浴場に対しては、その交付の決定を取り消すとともに、既に本補助金が交付されているときは、その返還を命ずる旨の条件を付するものとする。

（雑則）

第１２条　この要綱に定めるもののほか、本補助金の交付に関し必要な事項は、健康こども部長が別に定める。

附　則

この要綱は、昭和５３年８月８日から施行し、昭和５３年度分の補助金から適用する。

附　則（昭和５４年４月１日改正）

昭和５４年度分の補助金から適用する。

附　則（昭和５５年４月１日改正）

昭和５５年度分の補助金から適用する。

附　則（昭和５６年４月１日改正）

昭和５６年度分の補助金から適用する。

附　則（昭和５７年４月１日改正）

昭和５７年度分の補助金から適用する。

附　則（昭和５８年４月１日改正）

昭和５８年度分の補助金から適用する。

附　則（昭和５９年４月１日改正）

昭和５９年度分の補助金から適用する。

附　則（昭和６０年４月１日改正）

昭和６０年度分の補助金から適用する。

附　則（平成４年１２月１日改正）

平成４年度分の補助金から適用する。

附　則（平成５年１２月７日改正）

平成５年度分の補助金から適用する。

附　則（平成７年４月１日改正）

平成７年度分の補助金から適用する。

附　則

この要綱は、平成１７年８月１日から施行し、平成１７年度分の補助金から適用する。

附　則

（施行期日）

１ この要綱は、平成１８年１１月１５日から施行し、平成１８年度分の補助金から適用する。

（鳥取市公衆浴場運営費補助金交付要綱の廃止）

２ 鳥取市公衆浴場運営費補助金交付要綱（平成７年４月１日制定）は、廃止する。

附　則

この要綱は、平成１９年７月３日から施行し、平成１９年度分の補助金から適用する。

附　則

この要綱は、平成２１年６月１日から施行し、平成２１年度分の補助金から適用する。

附　則

この要綱は、平成２１年１０月１日から施行し、平成２１年度分の補助金から適用する。

附　則

この要綱は、平成２２年２月１日から施行し、平成２１年度分の補助金から適用する。

附　則

この要綱は、平成２４年２月２２日から施行し、平成２３年度分の補助金から適用する。

附　則

この要綱は、平成２９年４月１日から施行する。

附　則

この要綱は、平成３０年１２月２８日から施行し、平成３０年度分の補助金から適用する。

附　則

この要綱は、令和２年１０月１日から施行する。

附　則

この要綱は、令和３年４月１日から施行する。

様式第１号（第１０条関係）

年　　　月　　　日

鳥取市長　　　　　　様

報告者　住　　　所

名　　　称

代表者役職

代表者氏名

○○年度鳥取市公衆浴場確保対策費仕入控除税額確定報告書

　鳥取市公衆浴場確保対策補助金交付要綱第１０条第３項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１　補助金の確定額及び補助対象経費の額

（１）補助金の確定額　　　　　　　金　　　　　　　　　円

（２）補助対象経費の額　　　　　　金　　　　　　　　　円

２　実績報告控除税額（交付決定控除税額が実績報告控除税額を超えるときは、交付決定控除税額）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　金　　　　　　　　　円

３　消費税及び地方消費税額の申告により確定した仕入控除税額

金　　　　　　　　　円

４　補助金返還相当額

　　　　　　　　　　 １の（１）

　　　（３－２）× 　　　　　　　　　 金　　　　　　　　　円

　　　　　　　　　　 １の（２）

　注）別紙として積算の内訳を添付すること。

様式第２号（第６条、第１０条関係）

○○年度鳥取市公衆浴場確保対策事業計画（報告）書

浴　場　名

代表者氏名

１　公衆浴場確保対策運営補助事業計画（実績）

　　営業日数

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 営業月 | 営業日数 | 営業月 | 営業日数 |
| ４月 | 日 | １０月 | 日 |
| ５月 | 日 | １１月 | 日 |
| ６月 | 日 | １２月 | 日 |
| ７月 | 日 | １月 | 日 |
| ８月 | 日 | ２月 | 日 |
| ９月 | 日 | ３月 | 日 |
| 　　　　　年間営業日数 | 日 |

　＊上記の日数がわかる資料の添付をお願いします。

２　公衆浴場確保対策利用者促進事業計画（実績）

　　年間事業実績及び所要経費

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施日 | 事業名 | 事業内容 |
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|

様式第３号（第６条、第１０条関係）

○○年度鳥取市公衆浴場確保対策事業収支予算（決算）書

浴　場　名

代表者氏名

１　収入の部

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 金　額　（円） | 備　考 |
| 年間運営費補助金 |  |  |
| 省エネ対策事業補助金 |  | 　　市補助金 |
| 原油高騰対策補助金 |  |  |
| 入　浴　料 |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 合　　　計 |  |  |

２　支出の部

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 金　額　（円） | 備　考 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 合　計 |  |  |

* 省エネ対策事業所要経費を含む。

（収入）　　　　　　円―（支出）　　　　　　円＝　　　　　　　　円

様式第４号（第６条関係）

年　　月　　日

鳥取市長　様

申請者　住　所

浴場名

　　　代表者氏名 　　　　　　　　㊞

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（自署の場合は押印不要）

市 税 等 納 付 状 況 確 認 同 意 書

私は、鳥取市公衆浴場確保対策補助金の交付申請に伴い、私及び経営する公衆浴場の市税等（市民税（個人・法人）・固定資産税・下水道使用料）の納付状況について、鳥取市が確認することに同意します。

様式第５号（第６条、第１０条関係）

（　　　　　　　　　　　　　）導入による燃料費・光熱費等の削減計画（報告）について

年　　月　　日

１　公衆浴場の概要

　　名称

　　所在地

　　代表者の住所・氏名

２　導入する機器・設備の内容及び期待される省エネルギー効果

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 導入する機器・設備 | 期待される省エネルギー効果 | 備考 |
|  |  |  |

３　機器・設備の導入にかかる経費　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 機器・設備の種類 | 型式 | 数量 | 事業費（うち補助対象外経費） | 備考 |
|  |  |  |  |  |
| 合　　　　計 |  |  |

４　導入前後光熱水使用量比較表　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：　　　）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 使用量（　　　　） | 　　　　　年度【設備導入前】 | 　　　　年度【設備導入後】 | 差し引きＣ＝Ａ－Ｂ | 削減率Ｃ／Ａ（％） |
| 使用量A | 営業日数（日） | 使用量B | 営業日数（日） |
| 使用月 | ４月 |  |  |  |  |  |  |
| ５月 |  |  |  |  |  |  |
| ６月 |  |  |  |  |  |  |
| ７月 |  |  |  |  |  |  |
| ８月 |  |  |  |  |  |  |
| ９月 |  |  |  |  |  |  |
| １０月 |  |  |  |  |  |  |
| １１月 |  |  |  |  |  |  |
| １２月 |  |  |  |  |  |  |
| １月 |  |  |  |  |  |  |
| ２月 |  |  |  |  |  |  |
| ３月 |  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |  |

（※　　　年度の 　　　　月の値は見込み。）

様式第６号（第６条関係）

公衆浴場確保対策補助金省エネ設備改修補助金

　　　　　　　交付決定前に着手となった理由書

年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 浴場名 |  |
| 改修設備内容 |  |

○補助金交付決定前に着手となった理由

|  |
| --- |
|  |

○設備改修によって見込まれる省エネ効果

|  |
| --- |
|  |

※改修した場所の写真（改修前・改修後）、改修した設備の詳細が分かるもの等も併せて提出してください。

本補助金の交付決定がなされない場合又は交付決定の額が申請額に満たない場合であっても異議はありません。

代表者氏名　　　　　　　　　　　　　印　（自書の場合は押印不要）